

第 2 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

令和4年 1 月 2 7 日

定 例 会

令和4年第2回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和4年1月27日
 招集の場所 越谷市役所第二庁舎3階 教育委員会室
 開閉会日時 開会1月27日 午後 3時30分
 閉会1月27日 午後 4時50分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職務代理者	野 口 久 男
委 員	荒 木 明 子	委 員	渡 辺 律 子
委 員	山 口 文 平	委 員	東 宏 行

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	鈴 木 功	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 学校管理課長	紺 野 功
教育総務部 副 部 長 兼 教育総務課長	渡 辺 真 浩	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 指 導 課 長	小野寺 秀 明
教育総務部 副 参 事 兼 スポーツ振興 課 長	八木下 太	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 給 食 課 長	石 川 智 啓
教育総務部 副 参 事 兼 図 書 館 長	横 山 みどり	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 教育センター 所 長	齋 藤 紀 義
生涯学習課長	木 村 和 明	学 務 課 長 兼 小中一貫校 整 備 室 長	青 木 元 秀
生涯学習課 調 整 幹 兼 科学技術体験 センター所長	前 田 清 彦	指 導 課 調 整 幹	秋 元 伸 也

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副 課 長	濱 田 尊 則
----------------	---------

◎開会の宣告

吉田教育長 それでは、これより1月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し1名の方から傍聴許可願が提出されておりますが、教育長専決第1号及び第2号、第3号議案については人事案件であることから秘密会とし、先に審議したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午後 3時30分)

吉田教育長 ここで、傍聴人の入室を許可します。

〔傍聴人入室〕

◎第1号議案 令和4年度教育行政方針の決定について

吉田教育長 それでは、第1号議案「令和4年度教育行政方針の決定について」、教育総務部長から説明いたします。

鈴木教育総務部長 それでは、第1号議案 令和4年度教育行政方針の決定について、ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の11ページをお開きください。

第1号議案 令和4年度教育行政方針の決定について。

令和4年度教育行政方針を別冊のとおり決定するものとする。

令和4年1月27日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、第3期越谷市教育振興基本計画に基づき、教育施策の着実な推進を図るべく、当該年度の教育行政方針を定めるため、提案するものでございます。

それでは、令和4年度教育行政方針についてご説明いたします。お手元の別冊1「令和4年度教育行政方針」をご覧ください。こちらが1月臨時教育委員会会議において委員の皆様からいただいたご意見や令和4年度当初予算の調整結果等を踏まえ、再度、各所管課所において調整を行いました「令和4年度教育行政方針」の全文でございます。

続きまして、お手元の資料「令和4年度教育行政方針(変更履歴)」をご覧ください。こちらは、1月臨時会においてご協議いただきました「教育行政方針(案)」からの変更点を整理したものでございます。二重線で見え消しにしてある部分が削除した部分、網かけをしてある部分が追加した部分となっております。

それでは、こちらの資料に基づき、主な変更点についてご説明いたします。

初めに、3ページの上から6行目をご覧ください。こちらは、教科等横断的な特色ある教育課程の推進に関する記述でございますが、「各学校の特色ある9年間を見通した」の文言が分かりにくい表現となっていたことから、より伝わりやすくなるよう表現を改めさせていただいております。

次に、4ページの上から2行目をご覧ください。こちらは、「個を生かし伸ばす指導の充実」に関する記述でございますが、「指導主事等による学校訪問」について、事業目的と事業内容との繋がりが伝わりにくい箇所があったことから、学校訪問時における具体的な実施内容の説明を追加させていただいております。

次に、6ページの下から7行目をご覧ください。こちらは、「学校給食の充実と食育の推進」に関する記述でございますが、一文の中の主語が分かりにくくなっていたことから、「家庭においては、」という文言を追加させていただいております。

次に、7ページの下から6行目をご覧ください。こちらは、不登校児童生徒への支援に関する記述でございますが、事業目的が事業内容との繋がりに一貫性がなかったことから、「不登校の未然防止」と「不登校児童生徒への支援」に分けた記述に変更するとともに、不登校児童生徒への支援に対する具体的な事業内容の説明を追加させていただいております。

次に、8ページの上から8行目をご覧ください。こちらは、「教職員の資質・能力の向上」に関する記述でございますが、「ライフステージ」という文言を「教職員個々の経験年数」という文言に改めさせていただいております。また、「教職員の資質・能力向上」の内容であることが伝わりやすくなるよう、表現を改めさせていただいております。

次に、4ページの下から2行目の「英語検定料の助成」、11ページの上から8行目の図書館の「照明のLED化」、12ページの上から3行目の「旧^{きゅうひがしかたむら}東方村中村家住宅の多言語化の推進」、同じく12ページの上から7行目の「郷土資料館の規模・立地・機能などのあり方の検討」、13ページの下から5行目の「照明のLED化」につきましては、予算調整の結果、削除させていただくこととなりました。

以上が、主な変更点でございます。その他にも、分かりやすい表現へ修正した箇所や用語の使い方など、若干の修正を行った箇所がございますが、詳細につきましては資料をご参照いただき、ご了承を賜りたいと存じます。

なお、令和4年度教育行政方針については、本日の議決をいただいた後、事務局にて細かな字句の最終確認をさせていただき、令和4年3月定例市議会の開会日に市長の施政方針と併せて、教育長から表明していただくこととなります。

令和4年度教育行政方針についての説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより本案に対し、質疑、討論を行います。

ご質問またはご意見等はございますか。

この件につきましては、前回は施策の方向ごとに行いましたけれども、既に指摘のあったところの訂正あるいは予算関係の訂正ということですので、一括してお伺いしたいと思います。何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 さきほど説明がありました12ページの郷土資料館につきまして、少し残念な部分もあるかなとは思いますが、前回ご指摘させていただいたところにつきましては、適切に対応していただきまして、分かりやすい内容になっていると思いました。

以上です。

吉田教育長 今、指摘があった事項について何かございますか。

教育総務部長。

鈴木教育総務部長 ご意見ありがとうございました。

郷土資料館につきましては、具体的な検討をするための委託業務の予算化が見送られましたけれども、引き続き近隣の状況や先進市の事例等を調査してまいりますので、よろしくお願いします。

以上でございます。

吉田教育長 今回、予算はつきませんでした、これで事業をやめるということではございませんので、引き続き検討してまいります。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 これより第1号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎第2号議案 令和3年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書について

吉田教育長 続きまして、第2号議案「令和3年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書について」、教育総務課長から説明いたします。

教育総務課長。

渡辺教育総務課長 それでは、第2号議案 令和3年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書についてご説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の13ページをお開きいただきたいと思います。

第2号議案 令和3年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書について。

令和3年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書を別冊のとおり作成するものとする。

令和4年1月27日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、令和2年度に実施した教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価の結果について報告書を作成し、当該報告書を議会に提出するとともに公表する必要があるため、提案するものでございます。

令和3年度教育委員会の事務に関する点検評価につきましては、これまで令和3年6月定例教育委員会会議において、教育外部評価者及び教育外部評価の対象となる施策についてご了承いただいた後、教育外部評価者によるヒアリングを実施いたしました。

そして、10月定例教育委員会会議において、教育外部評価を受けた4項目を含め、27の施策に係る評価調書の記載内容などについてご協議いただいたところでございます。

本日は、その後の修正等を踏まえまして作成いたしました点検評価報告書の最終案について、ご審議いただきたいと存じます。

恐れ入りますが、別冊2「令和3年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書」の表紙を2枚めくっていただきまして、目次をご覧いただきたいと存じます。冊子の構成ですが、報告書につきましては、全4章の構成となっております。

また、巻末に資料といたしまして、過去に実施した教育外部評価の実施結果を記載してございます。

次に、今年度の点検評価報告書に係る主な記載内容についてですが、4ページ目をお開きいただきたいと存じます。「2 越谷市教育委員会の事務に関する点検評価について」の中では、進捗管理のために全ての「主な取り組み」に指標を設定した点や、施策レベルでの総合評価を取り入れた点など、第2期計画期間の点検評価における重要事項について記載してございます。

また、令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業が多数あったことから、その取扱いにつきまして、5ページ下段の「③ 評価基準について」にて追加で記載をさせていただきました。

続きまして、21ページをお開きいただきたいと存じます。こちらのページから70ページまでが27の施策に係ります教育内部評価表でございます。報告書の作成に係る考え方として、「点検評価」をしっかりと機能させるため、「成果」や「課題」について分かりやすく記載し、その評価結果とした根拠が読み取れるような表現に努めてまいりました。

続きまして、71ページをお開きいただきたいと存じます。こちらのページから87ページまでが第4章「教育外部評価」となっております。ここでは、4つの施策の外部評価結果に加え、外部評価者の総合的な意見を記載させていただいております。

また、今回、新型コロナウイルス感染症の影響や施設の廃止などに伴い、内部評価と外部評価

結果に乖離が見られた主な取り組みにつきましては、71ページ下段から72ページにかけまして、その説明を記載させていただいてございます。

なお、この報告書は、令和4年3月定例市議会に提出するとともに、関係機関等への配布、ホームページへの掲載などを行い、広く市民の方に公表してまいります。

今後、記述内容における若干の文言修正等があった場合につきましては、事務局にて対応させていただきたいと存じます。

「令和3年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書」についてのご説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより本案に対し、質疑、討論を行います。

ご質問またはご意見等はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 22ページなのですけれども、施策に対する総合評価のところ「^{しっかい}悉皆研修」とあるのですけれども、これは教員でないと、なかなか「^{しっかい}悉皆研修」というのは理解しにくいかと思うので、表記を変えたほうがよろしいかと思いますが、いかがでしょうか。

吉田教育長 教育総務課長。

渡辺教育総務課長 ご指摘ありがとうございました。

普段使用する一般的な言葉で妥当なものがあるか検討しまして、修正させていただければと思います。

吉田教育長 文言の修正を検討するということでよろしいですか。

渡辺委員 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 説明ありがとうございました。

昨年、検討した内容につきまして反映していただいているなと思いました。特に5ページの先ほど説明がありました下段の「※」、「令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により・・・」の箇所、さらには8ページの一番下の3行にも、しっかりと明記していただいたことで分かりやすくなったのではないかなと思いました。

また、72ページのあだたら高原少年自然の家の評価につきましても、非常に分かりやすくなったなど。「※」でしっかりと説明されているので、分かりやすい評価報告書になったのではないかと思います。

以上です。

吉田教育長 ありがとうございました。

今の件につきましては何かありますか。

教育総務課長。

渡辺教育総務課長 どうもありがとうございました。

前回の協議のときにご指摘をいただいて、我々としても気づいたところがありました。ご指摘いただいて記載したことによって、より分かりやすくなったのかなと思っております。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 質問させていただきたいのですけれども、22ページの①、ICTを活用した教育の充実のところで、令和2年度末の目標値が100%、それに対して現況値で85.6%となっていますが、これは何を基にして、このパーセンテージを出していますか。

吉田教育長 教育センター所長。

齋藤教育センター所長 こちらは、文部科学省でICT活用について教職員の調査がありますので、その調査を基にしております。平成30年度に約80%と、大きく下がっているのですが、調査の中身が若干変わってまして、より具体性を持った質問事項になりました。そのため、平成30年度に大きく下がっているのですが、そこからまた先生方が努力して年々上がっているところなのですが、目標値に対してはB評価ということでございます。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 そうすると、教員がアンケートに基づいて評価をして、その結果が85.6%だったということですか。

吉田教育長 教育センター所長。

齋藤教育センター所長 質問項目の中で、「ICTを上手に活用できているか」というような項目がございます。その項目は5段階評価となっており、「できている」、「よくできている」という4番目、5番目の評価を判断材料としており、令和2年度については85.6%の先生方が、ある程度自分は満足してできているというような評価でございます。

渡辺委員 はい、分かりました。

吉田教育長 市としてアンケートを実施していればよいのですが、外部のアンケートに頼っているものですから、それが変更になってしまうと、こうした状況がおきるということです。ただ、途中で変更するというわけにもいかないのです。

教育センター所長。

齋藤教育センター所長 こちらは平成28年度からこの目標を掲げて実施しているので、途中で変更すると基準が変わってしまい、評価の相違が出てしまうので難しいかなということで、そのまま文部科学省の調査を使用しております。

吉田教育長 目標値には届かないものにつきましては矛盾もありますが、そのあたりを加味して見ていただきたいということです。これは何回か質問を受けているところではなかったでしょうか。

齋藤教育センター所長 はい。

吉田教育長 文言に入れておくと分かりやすいかもしれない。

渡辺委員 少し分かりにくいと思います。

吉田教育長 表現が分かりにくいのでそれは可能ですか。

齋藤教育センター所長 はい、可能です。修正します。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 同じページの②、情報モラル教育の推進の評価の考え方もなんですが、まず、ネットトラブルの件数は目標値が15件ですが、それに対する現況値は75件で、その上のＩＣＴリテラシー指導力は91.6%になっている。これはどう考えればいいのでしょうか。

吉田教育長 教育センター所長。

齋藤教育センター所長 上段のＩＣＴリテラシーは、先ほどと同様に文部科学省の教職員への調査項目の中にあるものの結果で、達成できているのが91.6%ですが、下段は学校内におけるネットトラブルの件数を目標値としていますので、学校の中でネットトラブルになったものや紛失とか、いろいろなトラブルを含めた件数が令和２年度に75件あったということでございます。

渡辺委員 目標値は15件ですが75件もあったということですね。

齋藤教育センター所長 はい。

渡辺委員 それは、本当なら15件ぐらいに収めたいところを、75件もあったということですか。

吉田教育長 教育センター所長。

齋藤教育センター所長 この目標の設定値は平成28年に始まったときからの目標です。令和２年度には15件を目標値としていたのですが、タブレット端末の配布とか、児童生徒も家庭で自分の携帯等を使用している割合が増えてきていますので、どうしてもその中でネットトラブル等のケースも増えてきてしまっています。平成28年度の目標値の設定が少し甘かったかもしれないのですが、現状としては増えてきている要因がその時点ではあまり捉えられていなかった。減らさなければいけないという目標設定になっていますが、現実には増えてしまっているというところがありますので、私共としては今後も取り組んでいく所存でございます。

吉田教育長 トラブルの件数が減ったからいいのではないという考え方もございます。いじめとかの問題が見えにくくなっていますが、見えやすくするためには、件数が多くても、それはよく見えているということになるだろうし、件数が上がった時点で、この件数がどれだけ解決に向かっているかというところのほうが、むしろ大事なのかなと思います。途中で手法を変えるというわけにいかないでしょうから、要検討というところではないでしょうか。

齋藤教育センター所長 はい。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 これを見たときにわかりづらいといいますか、上の【課題】のところの最初の「・」が

I C Tリテラシー指導力のパーセンテージについて、2つ目の「・」が、ネットトラブルの件数に対応しているわけですね、この課題に対して。

吉田教育長 この課題の書き方は、対応しているということによろしいですね。

齋藤教育センター所長 はい。

渡辺委員 それで、これに対して評価がB評価ということについて、一般の方が見たときに、先ほど教育長もおっしゃっていましたが、ネットトラブルの件数はこんなに増えていて目標値は15件なのに内部評価はBというのが、少し理解しにくいかなと思います。一応意見までです。

吉田教育長 これは要検討でしょうか。

齋藤教育センター所長 分かりました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。ただ、令和2年度末の目標値ですので、既に終わっているものですね。

齋藤教育センター所長 はい、終わっています。

吉田教育長 もう少し課題のところで説明が欲しいということだと思いますが、修正は可能ですか。既に終わったことになりますが、どう扱いますか。

渡辺教育総務課長 文言の修正は大丈夫です。

吉田教育長 大丈夫ですね。

野口委員。

野口教育長職務代理者 今の件は課題などにその辺りの状況を文言で入れていただいて、今後はいじめと同じような形で、発生件数と解決した件数とか、あるいは解決した割合ということで目標を設定していくといいのかなと思いました。設定した時点では、できるだけその件数を減らそうという状況だったと思うのですが、先ほどお話があったようにかなりスマートフォンなどが子どもたちの間に普及して、数年前の状況とは大きく様変わりしたことから分かりますので、次の目標設定のときには、また考えていくというのがいいのかなと思いました。

以上です。

吉田教育長 教育総務課長。

渡辺教育総務課長 ただいまご審議いただいている令和3年度の点検評価につきましては、第2期教育振興基本計画に基づく目標指標となっておりまして、令和2年度が最終的な目標、第2期計画の最終目標という位置づけで行っております。令和3年度の事業につきましては、第3期計画に入っておりますので、目標設定の考え方も異なっております。今回はこういった形でそれぞれの件数という経年で追ってきている数字というもの、来年度の点検評価では、また違った見え方をしてくるような状況になりますので、第2期計画終了ということで、現状の点検評価は一段落させていただいて、新たな計画に基づく点検評価というのを、改めて皆様に協議、審議いただくというような流れになってまいります。

以上でございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 質問になるのですが、基本目標1—2—(5)、健康教育の充実で35ページになります。これは外部評価がされていて、内部評価は総合評価がC＋に対してCをつけた外部評価員はいなくて、BかAなのですが、こういう開きってどうしてできるものなののでしょうか。何か視点が違ったのかなと思って見ていたのですが、理由が分からなかったのも、もしお分かりでしたら教えていただければと思います。また、令和2年度末現況値というのが出ていなかったのも、要するに実施できなかったということなのか、理由の説明をお願いできればと思います。

吉田教育長 学務課長。

青木学務課長 こちらにつきましては、71ページの一番下からご説明をさせていただきたいと思います。

健康教育の充実ということですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、先ほど、東委員からのご指摘のとおり、学校歯科医によるよい歯の教室が実施できなかったということで、実施をしていないので、表中の評価ができないという形になりました。そのため、内部評価ではCとさせていただきましたが、最終的には2つの項目を合わせてC＋という形での評価となっております。

ただ、一方で内部評価とは違って外部評価の視点で見ていただくときには、それ以外の部分も評価をいただいた。コロナ対策のマニュアルづくりとか、様々な点で取り組んでいたというところを評価いただいたものですから、そこに差が生まれたと理解をしております。

吉田教育長 既に終わってはいますが、読んでみて分かるようにしておいたほうがよいのでは。

教育総務課長。

渡辺教育総務課長 今、ご指摘いただいたところですが、教育長がおっしゃったように、各事業ごとにそういった課題があってCになっていますという記載をさせていただくのが、一番いいことだとは思いますが、今年度の点検評価をするに当たりまして、教育委員会内の課所長が集まった中で協議したときに、かなりそういった項目が増えるだろうということがありました。そのため、8ページの下段に一括して記載させていただき、事業ごとの個別記載は避けるような形にさせていただきました。ご指摘いただいているように、分かりづらい部分は重々承知しておるところですが、見え方の問題でしつこくなり過ぎないようにという配慮から、こういった状況になっておりますので、ご理解いただければと思います。

吉田教育長 状況の変化によってずれが生じているということですが、大きくは先ほど教育総務課長から説明があった理由ということですので、ご理解いただければと思います。

他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 これは、特に記載変更とかされなくていいのですけれども、コロナウイルス感染症の影響で取り組みができなかったのも、全てCだというのは、取り組みはしなかったけれども、いろいろな努力というのはされたのではないかと思います。例えば51ページの人権教育の推進が全部Cになっているのですけれども、啓発活動の推進は事業中止だからCだということだけれども、それでも啓発活動を34回、コロナ禍の中で34回も実施したというのは、むしろ私は評価したいぐらいに思っているのです。そういうことがうまく表れていないのは、少し残念なことだなと思います。事業は中止したけれども、市の広報紙には人権問題を取り上げたり、啓発物品を市民に配布したりということを努力されたということは、私は評価したいと思います。

以上です。

吉田教育長 ご指摘ありがとうございました。

この辺りはご指摘が前回にもあったんですよ。ですので、共通理解としてこのように扱ったということです。ご指摘いただいた点、ありがたいと思います。

他にございますでしょうか。

渡辺委員。

渡辺委員 46ページなのですけれども、部活動等の充実及び外部指導員の派遣についてなのですが、14校、市は15校ありますから、ほぼ全部の中学校で外部指導員をお願いすることができて、それに対しB評価となっているのですけれども、ここのところの理由をご説明いただければと思うのですが。

吉田教育長 指導課長。

小野寺指導課長 部活動に関しましては、各学校の顧問や外部の指導者のご協力をいただきながら進めているところでございます。令和2年度に関しましては、課題のところでございますように、ガイドラインを策定しております。県や市、各学校のガイドラインに沿って適切に部活動が継続されるよう、課題意識を持ってということです。今現在はその下に、コロナ禍の中でのガイドラインを基準としながら、日数や時間、感染対策ということも十分行っているところでございますが、この段階ではそのような評価をさせていただいたところでございます。

以上でございます。

吉田教育長 5ページに記載があるように、一定の成果が得られているが、少し課題があるということです。大きな課題はないということです。

渡辺委員 よくてもいいのかなと。

吉田教育長 そういう前向きな評価をいただいたので、今後の参考にしてください。

他にございますでしょうか。

課題というのは、私もよく使うのですが、問題点だけではないだろうと。課題と書いてあるか

らよくないとかではなくて、よりよくしようという課題もあるかなと思っていて、むしろ前向きな方向で課題を考えているということによろしいですか。

指導課長。

小野寺指導課長 今、お話がありましたように、現在大きな課題ということではなく、ある程度のガイドラインを示して、それを扱う指導者である教職員だったりとか管理職等が、それをしっかりと捉えて適切に運用していくという部分も含めて、よりよい活動や、安全確保だったり、教職員の働き方改革という部分で深めていきたいという考えです。よりよくということですので、今後もそのようなものを課題という形で捉える必要があることから、このような形で評価させていただきました。

以上でございます。

吉田教育長 まだ課題が出ているのに、Aとは評価しづらいということですね。

他にございますでしょうか。

内部評価がほとんどでしたけれども、外部評価については、我々自身も謙虚に受け止めなければいけない部分があるかと思いますが、いかがでしょうか。特によろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより第2号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎協議事項 「令和3年度越谷市教育費補正予算について」

吉田教育長 続きまして、協議事項に入ります。

「令和3年度越谷市教育費補正予算について」、教育総務部長から説明いたします。

教育総務部長。

鈴木教育総務部長 それでは、令和3年度越谷市教育費補正予算の要求内容についてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、別冊3の「令和3年度越谷市教育費補正予算について」をご覧ください。

まず、歳入についてご説明いたします。3ページの表の一番下にございます歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連する歳入の要求につきましては、今回4,551万円を追加し、補正後の総額は26億4,247万6,000円となります。

歳入の内容でございますが、8ページ及び9ページをご覧ください。

初めに、教育総務部の要求でございます。生涯学習課ですが、13款使用料及び手数料、1款使用料、7目教育使用料につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、越谷コミュニ

ティセンターにおいて当初想定していた使用料収入が見込めない状況となったことから、社会教育使用料1,000万円を減額します。

次の21款市債、1項市債、7目教育債につきましては、事業費の確定に伴い、あだたら高原少年自然の家の解体工事に係る旧少年自然の家解体事業債380万円を減額します。

次に、スポーツ振興課ですが、20款諸収入、6項雑入、1目雑入につきましては、その他雑入として、市主催のスポーツ大会におけるけがに対する市民総合災害等補償金1万円を追加します。

次に、学校教育部の要求でございます。学校管理課ですが、14款国庫支出金、2項国庫補助金、6目教育費国庫補助金につきましては、明正小学校校舎外壁改修事業に係る学校施設環境改善交付金300万円を追加します。

次の21款市債、1項市債、7目教育債につきましても、明正小学校校舎外壁改修事業に伴い、学校施設整備事業債5,630万円を追加します。

続いて、歳出の内容でございますが、戻りまして5ページ下段の教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回、230万4,000円を減額し、補正後の総額は107億9,013万8,000円となります。

歳出の主なものについてご説明を申し上げます。10ページ及び11ページをご覧ください。

初めに、教育総務部の要求でございます。上段のスポーツ振興課ですが、7項保健体育費、3目体育費のその他体育費につきましては、市主催のスポーツ大会における怪我に対する補償金として、歳入と同額の1万円を追加します。

また、4目市立体育館費の市立体育館管理運営事業につきましては、総合体育館に係る光熱水費500万円を減額します。

12ページ及び13ページをご覧ください。次に、学校教育部の要求でございます。学校管理課ですが、2項小学校費、1目学校管理費の施設管理費につきましては、歳入でもご説明いたしましたが、明正小学校校舎外壁改修事業に係る校舎改修工事費6,000万円の追加のほか、事業費の確定に伴い校庭改修工事費の減額を行います。

次の3項中学校費、1目学校管理費の施設管理費につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等に伴い、中学校に係る光熱水費及び公共下水道使用料、合わせて623万円の追加のほか、事業費の確定に伴い校舎改修工事費及び屋内運動場改修工事費の減額を行います。

次に、下段の給食課ですが、7項保健体育費、2目学校給食費の施設管理費につきましては、学校給食センター施設管理に係る燃料費及び光熱水費並びに公共下水道使用料として、合わせて500万6,000円を追加します。

その他の要求につきましては、事業費の確定に伴う減額が主なものでございます。

恐れ入りますが、6ページにお戻りください。繰越明許費の追加でございますが、2項小学校費における小学校施設改修費につきましては、今回計上する明正小学校校舎外壁改修事業に係る工事費6,000万円及び9月補正予算で計上いたしました普通教室等改修事業に係る工事費4,948万

7,000円について、今年度の事業完了が見込めないことから、令和4年度に繰り越すものでございます。

また、3項中学校費における中学校施設改修費につきましては、9月補正予算で計上いたしました普通教室改修事業に係る工事費について、今年度の事業完了が見込めないことから、令和4年度に繰り越すものでございます。

続きまして、7ページをご覧ください。債務負担行為の変更ですが、大相模小学校仮設教室賃借費から（仮称）地域スポーツセンター排水路改修工事費までの4件につきましては、令和3年度当初予算で計上いたしました債務負担行為額について、契約額が確定したことから、限度額を変更するものでございます。

続いて、地方債の変更ですが、歳入でご説明いたしましたとおり、旧少年自然の家解体事業につきましては、あだたら高原少年自然の家の解体工事に係る事業費の確定に伴い、市債の限度額を、表のとおり変更するものでございます。また、学校施設整備事業につきましては、明正小学校校舎の外壁改修事業に伴い、市債の限度額を表のとおり変更するものでございます。

3月補正予算の要求に係る説明は以上でございます。ご協議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより協議に入ります。

ご質問またはご意見等はございますか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 ご説明ありがとうございました。

特に明正小学校の外壁工事につきまして、早めに取り組んでいただけるのだなということで大変うれしく思いました。老朽化した部分が、特に昭和に建設された校舎が多いですので、機会を見て早め早めに取り組んでいただけると、大変ありがたいなと思いました。

以上です。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

東委員。

東委員 見方がよく分からなくて、すみません。

最後の要求事案の歳出というのは、プラスアルファで要求するということでよろしいのですよね。それでいくと、13ページなのですが、中学校は光熱費と下水道使用料の追加ということで、これは予定していたより多かったということでもいいのですか。そうだとすると、小学校の要求がないのは何故なのでしょう。コロナ禍の中で、換気のために結構燃料も要るのだとは思いますが、小学校は光熱費と下水道料金の追加はなくて、中学校だけあるのは、何か理由があるのでしょうか。

吉田教育長 学校管理課長。

紺野学校管理課長 今、東委員がおっしゃったとおり、コロナ禍で光熱水費が増加したというところが原因かと考えています。小学校費は出ていないのかということですが、越谷は小学校が30校、中学校が15校と、全体的な予算額も違っていますので、小学校は全体的に見て、当初予算の中で何とか収まりそうだということから、中学校費だけを要望させていただいたというところでございます。

東委員 分かりました。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、以上を踏まえて進めてください。

◎協議事項 「令和3年度越谷市立小中学校卒業証書授与式について」

吉田教育長 続きまして、「令和3年度越谷市立小中学校卒業証書授与式について」、指導課長から説明いたします。

指導課長。

小野寺指導課長 それでは、令和3年度越谷市立小中学校卒業証書授与式についてご説明させていただきます。

委員の皆様には、小学校、中学校それぞれ1校ずつご臨席いただきまして、卒業する児童・生徒を祝福していただければと考えておりますので、本日はその対象となる学校について事務局案としてご提示申し上げます。

恐れ入りますが、会議要項の19ページをお開きいただきたいと存じます。

はじめに、小学校卒業証書授与式につきましては、令和4年3月24日木曜日に、全30校一斉開催の予定でございます。

なお、学校ごとの来賓受付時刻、来賓入場時間及び開式時間等につきましては、表に記載のとおりでございます。また、表欄外の○印は令和3年度、△印は令和4年度をもって校長が退職される学校を示したものでございます。

ご臨席いただく学校につきましては、吉田教育長には大袋東小学校、野口教育長職務代理者には増林小学校、荒木委員には蒲生小学校、渡辺委員には蒲生第二小学校、山口委員には花田小学校、東委員には川柳小学校ということでご提案申し上げます。

なお、蒲生小学校と蒲生第二小学校の両校につきましては、合併により来年度から新たな蒲生小学校として開校することから、現両校としては今年度が最後となりますので、委員の方々にご臨席賜りたいと存じます。

続きまして、会議要項の20ページをご覧ください。中学校卒業証書授与式につきましては、令和4年3月15日火曜日に全15校一斉開催の予定であり、来賓受付時刻等につきましては、表に記

載のとおりでございます。また、小学校と同様に、表欄外の○印は令和３年度、△印は令和４年度をもって校長が退職される学校を示したものでございます。

ご臨席いただく学校につきましては、吉田教育長には北中学校、野口教育長職務代理者には中央中学校、荒木委員には大相模中学校、渡辺委員には新栄中学校、山口委員には平方中学校ということでご提案申し上げます。

続きまして、会議要項の21ページ、委員出席校一覧をご覧ください。事務局案の作成に当たりましては、委員の皆様にご臨席を賜ることを念頭に、ここ数年の委員の出席状況、さらに令和３年度及び令和４年度をもって校長が退職となる学校を考慮して、ご提案させていただいております。

なお、委員の皆様にご臨席いただく学校以外の学校につきましては、教育委員会事務局の管理職が出席をさせていただきます。

また、今年度も新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のために、開催時間の短縮や参加者の制限等を行ってまいります。

さらに、会議要項の19ページ及び20ページに「式回数」の欄がございますが、こちらは会場となる体育館の広さや学校規模によって、式を複数回実施する学校があり、現段階で式を複数回に分けて実施する学校に、その回数を記入しております。

現在、本市においても、埼玉県におけるまん延防止等重点措置の対象地区となっておりますが、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、実施方法等を変更する場合もございますので、その際は別途お知らせいたします。

令和３年度越谷市立小中学校卒業証書授与式についてのご説明は以上でございます。ご協議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより協議に入ります。

ご質問またはご意見等はございますか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

◎その他 「令和３年度越谷市成人式について」

吉田教育長 続きまして、その他の報告事項に入ります。

「令和３年度越谷市新成人式について」、生涯学習課長から説明いたします。

生涯学習課長。

木村生涯学習課長 それでは、令和３年度越谷市新成人式につきましてご報告申し上げます。

会議要項の23ページをお開きいただきたいと存じます。

過日、１月９日、日曜日に開催いたしました令和３年度越谷市成人式につきましては、委員の

皆様にご出席を賜りまして誠にありがとうございました。

昨年度、令和2年度につきましては、式典を行わない形式で実施いたしましたが、今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じた上で、令和元年度以前と同様に式典を行う形式で実施いたしました。

続きまして、24ページをお開き願います。今年度の越谷市全体の出席者数は2,373人、出席率は72.2%でございました。男女別では、男性が75.9%、女性が68.5%でございます。昨年度とは開催方法が異なりますので、単純な比較とはなりません、参考程度となります。前年当日来場率と比べ、対前年比の合計のとおり17.8ポイントの増となっております。

なお、25ページにつきましては、今年度の各地区の出席者の内訳を掲載しております。後ほどご参照くださいますようお願いいたします。

また、参考としまして、26ページには昨年度、令和2年度越谷市新成人へのお祝い、各地区の参加状況表を、そして27ページには令和2年度の各地区の参加者の内訳を掲載しております。令和2年度の参加者数につきましては、26ページに掲載しておりますが、記念品の贈呈を令和3年1月10日から5月31日までの間実施し、参加者の合計は2,416人で、参加率は73.1%でございました。

続きまして、28ページをお開き願います。こちらには、さらに参考としまして、今年度同様の開催方法で開催いたしました令和元年度越谷市成人式各地区出席状況表を、そして29ページには令和元年度各地区の出席者の内訳を掲載しておりますので、後ほどご参照くださいますようお願いいたします。

資料に記載はございませんが、開催方法が異なる令和2年度を除きますと、平成16年度から令和3年度までの出席率は70%を超えております。今年度も令和元年度以前と同程度の出席率であることから、地区別開催や「成人の日」の前日開催が定着している結果ではないかと考えております。

成人式全体といたしましては、新成人も実行委員に加わり、成人式の企画・運営をはじめ、式典や催し物の司会進行を行うなど、新成人の関わりが定着し、全体的傾向としましては、従来の参加型の成人式から、自らつくり上げようという参画型の成人式に変わってきており、社会の一員ということを自覚するきっかけづくりとして意義あるものと考えております。

なお、今後の予定でございますが、2月に各地区代表者会議を開催し、今年度の総括、来年度の開催日程、成年年齢の引下げに伴う今後の事業名称等を協議する予定となっております。今後につきましても各地区のご意見を賜りながら、二十歳に達する青年をお祝いする事業を開催してまいりたいと考えておりますので、ご指導、ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

ご報告は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

荒木委員。

荒木委員 今年度は大袋地区と荻島地区の2会場に参りまして、いずれもこれまでは大学で実施しており、今回中学校での実施となった地区ですが、どちらもとても雰囲気の良い中、式が行われておりました。特に荻島地区につきましては、会場が変わっただけでなく、これまでは出羽地区と合同で開催していたところを単独での開催となり、準備も大変だったのではないかと推察されますが、落ち着いたいい雰囲気で式が行われており、実行委員長さんもお喜びだったのが印象的でした。

吉田教育長 他にございますか。

山口委員。

山口委員 出席率のことなのですけれども、男女間で出席率に開きがあるというように思えて、女性のほうが全体で見ても75.9対68.5で低かったりとか、地区も人数の少ないところなのですけれども、出羽地区とかは60.7対42.7と、少ない傾向がある地区があるのですけれども、何か把握されている原因というのはあるのでしょうか。

吉田教育長 生涯学習課長。

木村生涯学習課長 まず、男女間での出席率の差、開きというところなのですけれども、過去の出席率を何年か申し上げますと、昨年度は異なる形式でしたので、その前、令和元年度は男性が73.8、女性が71.0、全体で72.4。平成30年度は男性が74.5、女性が72.7、合計で73.6。平成29年度は男性が73.6、女性が71.4、全体で72.5でした。ここまでの3年間で見ますと、女性と比べて若干男性のほうが多いような結果がありますけれども、この差について突き詰めて原因を探るということはしておりません。多少の開きがあるものと認識はしているところではございますが、申し訳ございませんがそれ以上細かい原因までは探っておりません。

続きまして、地区によるばらつきというところなのですけれども、この対象者数につきましては、あくまで昨年11月1日現在に本市の中で住民登録をされているその住所地にお住まいの方であり、その学校、その地区を卒業したかどうかではなくて、その時点でお住まいの方をリストアップしまして、対象者として登録し、ご案内させていただいております。中学校のとき、いわゆる5年前に遡ったときに、例えば学校選択制で他の地区にある学校へ通っていた方もいらっしゃると思われまして、現在は越谷市にお住まいであっても、中学校時代は他の自治体にお住まいだったという方も中にはいらっしゃるかと思います。

従いまして、登録されているお住まいではなく、一定程度他の地区に参加される方というのはどうしてもいらっしゃるかなと思います。特に今年度で申し上げますと、出羽地区は出席率51%ということで、若干他の地区に比べますと少ないのですが、これからさらに検証していきたいと思っておりますけれども、出羽地区は行政区ですと広い地区ですが、出羽地区の中に荻島地区の西中学校の学区の方が一定数含まれています。これまでは一緒の地区、荻島、出羽ということで合同開

催しておりましたので、合わせて考えますと63%ぐらいになるのですけれども、分散したことで西中の学区の方が、荻島地区に参加された結果になったのかなと。これはまだ細かく検証してはおりませんが、推測しているところでございます。

長くなりましたが、以上でございます。

吉田教育長 成人式は地区ごとに実行委員会形式で実施しているのですが、今、生涯学習課長が申したとおり様々な諸事情があつて、そういうこともあろうかと思うのですが、大多数が出席率を結構気にされていて、うちは今回少なかったと言っていて、もう少しこういうふうにしなければならないと言っている地区もあるのですが、新成人も実行委員に入っているということで、確証があることではないのですが、新成人が働きかけることで参加者が増えることもあるような話も過去にはありました。また、今回も地域の方々の熱心な働きによって実施できたのかなと思います。

私も、先ほど荒木委員の感想がありましたけれども、今回は式典中、一人も一言もしゃべらなかった。午前と午後、両方出席しましたが、午後のときは後から来てハンドスピーカーを持ってきた子がいたのですが、周りが静かにしていましたので、途中で退席していました。残っている子も1人いたのですが、周りから静かにしろとたしなめられたようです。私は校長会で、今回、地域の人も実行委員の方もリスクゼロではない。そういう思いを参加者が受け止めたのかなという話を校長会でさせてもらったところなのですけれども、そういう協力があつて、今回も無事にできたのかなと思っております。感謝の気持ちを課長からもぜひ伝えていただければと思います。

他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 私も2か所行かせていただいたのですけれども、教育長もおっしゃったように、静かに話を聞くというすばらしい式でした。その一つの要因として、司会を新成人から出すとか、あるいは誓いの言葉を言うとか、非常に自覚を高める意味でいいのかなと思いました。

また、恩師の方をどちらもお呼びしていましたが、大変かもしれませんけれども、あのようには恩師の先生方を呼んでいただいて旧交を温めるというか、そういう場面をつくっていただけるのは非常にいいなと思います。中学校を卒業した後にそれぞれの進路で一度離れた仲間が、5年後に再会して旧交を温めるという場面、非常に見ていて心温まるものがあるなと思いました。これがまた、若者が地域に結びつく一つのきっかけになればいいなと本当にしみじみと思いました。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 私は、越ヶ谷地区の成人式に参加したのですけれども、市民会館で行いまして、こちらの地区はざわついておりました。何人入れるホールかは分からないのですけれども、1個ずつ席を空けるということはできないで、後ろが3列ぐらいは空いていたようですが、他は全部詰まっ

ていました。これで大丈夫かなということで、結構驚きました。それと、壇上の来賓もすごく詰まっていて、さらに3列ぐらいありました。このところがどうだったのかな、あの会場でよかったのかなという思いがありまして、翌日他の自治体の成人式の様子を見たら、PCR検査を実施しているとか、厳戒態勢の中で開催していたと思います。あの状態だったので、もう少し市が確認をしていくということも大切なのではないかと感じました。

吉田教育長 もうひとつ、一昨年、ある実行委員の委員長だった方が別な機会に、式典が終わった後に新成人が来て、自治会のおかげでこういう式典を催してくれたのだという感謝の言葉を言っていたというような話があり、これも校長会で報告させてもらいました。他市の市長や教育長とも会うことがあって、今年はどこも静かにできたということをおっしゃっていました。

また、中には自分はLGBTというようなことを言ったかまでは分かりませんが、そういうことで非常に悩んでいたのだけれども、先生に支えられてこれまでやってこれましたみたいな感謝の言葉を言って終わった成人式があったという話もされていました。そういう感謝の気持ちを伝える場面があってもいいかなということも感じました。

他にございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 他になれば、以上を踏まえて進めてください。

委員の皆さまから他に何かございますでしょうか。特によろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、以上といたします。

最後に、次回の教育委員会会議の日時につきましては、2月17日、木曜日、午前9時30分から教育委員会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と答える者あり〕

吉田教育長 では、そのようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

◎閉会の宣告

吉田教育長 それでは、本定例会に提出されました議事は終了いたしました。

これをもちまして閉会といたします。ありがとうございました。

(午後 4時50分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長

吉田 茂

委 員

野口 久男

委 員

荒木 明子

委 員

渡辺 律子

委 員

山下 久平

委 員

東 宏行

書 記

教育総務課副課長

濱田 尊則